

日本磁気科学会 令和3(2021)年 物理化学分科会

「電子スピンの検出と応用－磁場効果現象における物理化学と学際的磁気科学」

あらゆる物質は原子から成り立ち、原子は原子核や電子などから構成されています。電子はスピンを保有し高速で運動しているため、強磁性体でなくとも物質は様々な磁氣的性質を示すことがあります。しかしそれらのスピンを観測し、さらには実社会に応用するためには、それらの磁場効果現象に科学のメスを入れる必要があります。

21世紀における社会の持続的発展と将来世代のためにも、特にエネルギーや環境、医療分野などにおいては、学際的な磁気科学のさらなる発展が期待されています。本講演会では電子スピンの観測と応用、理論的解明に挑戦し、各分野でご活躍の5名の演者にご登壇いただくこととなりました。ぜひお気軽にご参加下さい。

記

日時： 2021年10月7日(木) 13:00～17:15

方法： Zoomによるオンライン開催

<https://kyoto-u-edu.zoom.us/j/81820335734?pwd=MXZ6Ym55K20xREI5M3ZsYytIRkZFUT09>
ミーティング ID: 818 2033 5734 / パスコード: 842147

プログラム

- | | | |
|-------------|---|-----------------------|
| 13:00 | はじめに | 奥村英之 (京都大学) |
| 13:05～13:50 | 「メタ磁性転移を利用した高効率な磁気冷凍法の開発」 | 寺田典樹 (物質材料研究機構[NIMS]) |
| 13:55～14:40 | 「光電子計測法開発による表面磁性研究：
軌道磁気量子数分解 XMCD と光電子運動量顕微鏡」 | 松井文彦 (分子科学研究所) |
| 14:45～15:30 | 「 π スピン系の励起状態ダイナミクスと磁気科学」 | 手木芳男 (大阪市立大学) |
| 15:35～16:20 | 「発光性有機ラジカルに基づく磁気・光機能開拓」 | 草本哲郎 (分子科学研究所) |
| 16:25～17:10 | 「磁場と金属ナノ粒子を活用した光機能ナノ材料の創製」 | 米村弘明 (崇城大学) |
| 17:15 | 閉会の挨拶 | |

(ご都合の許す方のみ、閉会后30分程度のオンライン懇親会を予定)

世話人：奥村英之 (京都大学) e-mail: okumura.hideyuki.4e@kyoto-u.ac.jp